

JASO推奨品・推奨工法認定 認定番号No.15

『スーパータフポリ 建築設備用ポリエチレンパイプ

(EF接合・Eロック接合・ハウジング接合)』 (株)クボタケミックス

1. JASO推奨品・推奨工法について

技術委員会は、JASO推奨品・推奨工法として、クボタケミックスの「スーパータフポリ 建築設備用ポリエチレンパイプ (EF接合・Eロック接合・ハウジング接合)」について審査し、推奨品に認定し2021年7月理事会にて承認されました。

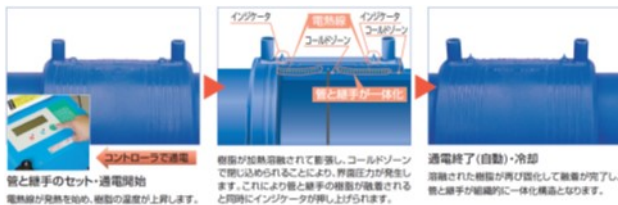
2. 製品の概要

クボタケミックスの「スーパータフポリ 建築設備用ポリエチレンパイプ」は、主に埋設給水管、建物内ピット内配管、建物内給水立て管として使用される。

接合方法には、①EF接合 (呼び径20~300)、②Eロック接合 (呼び径40~75)、③ハウジング接合 (呼び径40~150) の3種類がある。

① EF接合の特長

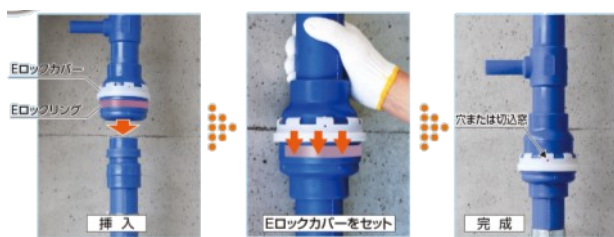
EF接合は、電熱線を埋め込んだ継手に管を挿入した後、コントローラから通電して電熱線を発熱させ、継手と管の樹脂を加熱溶融して接合する方法です。管と継手が組織的に一体化するので、管体部と同等以上の接合部強度を発揮します。埋設部から建物内まで使用可能です。



② Eロック接合の特長

Eロック接合は、プレfabユニットのEロック受口をEロック挿し口に挿入後、Eロックカバーをセットすることで接合が完了します。受口内部のパッキンで止水性を確保し、Eロックリングで継手の抜け出しを防止します。

建物内の給水立て管やピット内配管に使用します。



③ハウジング接合の特長

ハウジング接合は、プレfabユニットのステンレス製グループ付

管端部を突き合わせ、ゴムリング、ハウジングを装着後、ボルト・ナットを締め付けることで接合が完了します。

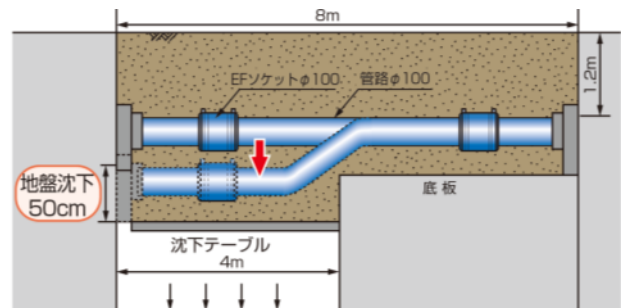
建物内のピット配管や給水立て管、ハウジングバルブとの接続に使用します。



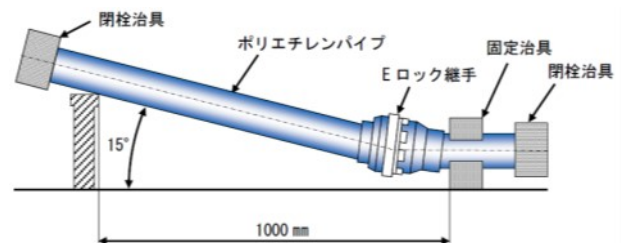
3. スーパータフポリの耐震性について

埋設部に使用されるEF接合は、呼び径50~200について、水道配水用ポリエチレンパイプ (JWWA規格品) であり、厚生労働省が主催する「管路の耐震化に関する検討会」の検討報告書2014年6月発行では、水道配水用ポリエチレン管が耐震管として分類された上で、東日本大震災による被害状況の分析がなされています。水道配水用ポリエチレン管は、調査対象区間において被害なしと報告されています。

また、地盤沈下試験 (50cm) において、破損、漏れ等の異常がない事を確認しています。



建物内で使用される際には、地震による層間変位 (1/100) で、配管にはたわみ角0.6°が生じることが想定される。EF接合、Eロック接合、ハウジング接合は、各々曲げ水圧試験において、15°曲げ、2.5MPaの内水圧でも、破損、漏れ等の異常がない事を確認しています。



(株)クボタケミックス

<https://www.kubota-chemix.co.jp/>